

ようこそ筑波大学へ 4475人の笑顔咲く



平成24年度入学式は、4月9日に大会館講堂で行われる。学類・専門学群の入学式は午前2回に分け、第1回は6時30分から、第2回は11時30分から行われる。大学院の入学式は14時開始。今年は学類・専門学群の新入生1628人、大学院生3153人が入学式を迎える。なお、学類・専門学群の第2回入学式終了後、新入生歓迎の本祭が開催される。

希望を胸にキャンパスへ 学群生の授業は13日から



3月6日の合格発表。自分の番号を見つけた受験生は、喜びに満ちた歓声を響かせた。「頑張ったかいがあった」「あこがれだった筑波大学に行けるなんて信じられない」「支えてくれた家族に感謝したい」。たくさん笑顔と希望を胸に、大学生としてのスタートラインに立った新入生。おめでとう。ようこそ、筑波大学へ。(撮影・筑波大学新聞編集部)



第299号
編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@sakura.cc.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から
パイオカフェ
セクウェイ
柔道
菅弦楽団演奏会
最終回 ゆいまつり
睡眠の謎に迫る
日本初の公道ツアー
本学選手が複数受賞
震災の追悼演奏も
検証! 自転車の海つくば
本学生らが企画・運営
18 17 16 15 3
つくばMAP 10,11
付録 大学周辺の地図
特集 12,13
食堂リニューアル
つくばのお昼が変わる!!



平成22・23年度卒業式
1年越しの式で卒業生ら再会
平成23年度、おひさしぶりに本大震災の影響で中止になった平成22年度の卒業式・修了記念式典が3月23・24日、大会館講堂で行われた。平成23年度は577人の学群生、2008人の大学院生が修了し、平成22年度の卒業・修了記念式典ではあいにくの雨だったが、全卒業生のうち約800人が足を運んだ。

平成23年度、おひさしぶりに本大震災の影響で中止になった平成22年度の卒業式・修了記念式典が3月23・24日、大会館講堂で行われた。平成23年度は577人の学群生、2008人の大学院生が修了し、平成22年度の卒業・修了記念式典ではあいにくの雨だったが、全卒業生のうち約800人が足を運んだ。記念式典では東日本大震災の犠牲者に黙とうが捧げられ、山田信博学長は式辞の中で「被災した大会館で再会し、式を行ふことを発願し、思ふ存に在る。皆さんには、大学で学び、身につけた実力を最大限に発揮し、日本再生のために活躍していただきたい」と述べた。(関連写真は20面)

今年も、新たな出会いの季節がやってくる。学内の至る所に、あふれるほど美しい自然を自慢することができ、筑波山から一望できる筑波山は自然がいまも輝き、昔から数々の和歌が詠まれた名勝地。そのど真ん中に「筑波湖」の降り注ぐ「みなりの川」恋つづもりて、百人一首とられた陽成院の歌がある。筑波山の嶺から流れるわすよな水が大きな川になるように、わすれたいも積もって溢れしもうつろい、妻戀子、人の心動かすは、人の想いである。昨年一年間、学園実行委員としてさまざまな想いが出会った。なぜ祭を行うのか。企画は学生のためになっていく。日夜議論した。時には壁におつたり、もう駄目かと感じたこともあった。あきらめかけた私達を奮い立たせたのは、「仲間が好き」「学園が好き」という共通の想いだ。▼平安時代と現代。表現や文化は変われど、人々の行動の根柢にあるのは昔から変わらない。これが好き。「天切」などといった想いではなからうか▼あなたは何を想って本学の合格通知を手にしたらうか。筑波山麓のこの地で始まる学生生活が、「筑波湖」の歌のように、少しずつ自分の「想い」を積み重ねて、大きな川を作り上げることを願いたい。

今年も、新たな出会いの季節がやってくる。学内の至る所に、あふれるほど美しい自然を自慢することができ、筑波山から一望できる筑波山は自然がいまも輝き、昔から数々の和歌が詠まれた名勝地。そのど真ん中に「筑波湖」の降り注ぐ「みなりの川」恋つづもりて、百人一首とられた陽成院の歌がある。筑波山の嶺から流れるわすよな水が大きな川になるように、わすれたいも積もって溢れしもうつろい、妻戀子、人の心動かすは、人の想いである。昨年一年間、学園実行委員としてさまざまな想いが出会った。なぜ祭を行うのか。企画は学生のためになっていく。日夜議論した。時には壁におつたり、もう駄目かと感じたこともあった。あきらめかけた私達を奮い立たせたのは、「仲間が好き」「学園が好き」という共通の想いだ。▼平安時代と現代。表現や文化は変われど、人々の行動の根柢にあるのは昔から変わらない。これが好き。「天切」などといった想いではなからうか▼あなたは何を想って本学の合格通知を手にしたらうか。筑波山麓のこの地で始まる学生生活が、「筑波湖」の歌のように、少しずつ自分の「想い」を積み重ねて、大きな川を作り上げることを願いたい。

新たな調査方法を開発 実用化へ貢献

有機薄膜太陽電池

次世代の太陽電池として期待される「有機薄膜太陽電池」の内部構造を細かく調べる手法を、弘准教授(数物系)が開発した。

有機薄膜太陽電池は、有機物を半導体として、少量で高性能な有機薄膜太陽電池を開発する。従来のシリコン太陽電池の3分の1以下のコストで生産できる。しかし、光を電気に変える変換効率がシリコン太陽電池の半分以下であるため、現状では実用化に向けて変換効率の向上を目指している。

有機薄膜太陽電池は、有機物を半導体として、少量で高性能な有機薄膜太陽電池を開発する。従来のシリコン太陽電池の3分の1以下のコストで生産できる。しかし、光を電気に変える変換効率がシリコン太陽電池の半分以下であるため、現状では実用化に向けて変換効率の向上を目指している。

胃内バルーン療法を開始 肥満の改善を目指す

本学附属病院

「胃内バルーン療法」は、肥満に伴う健康害の改善を目的とする。胃内バルーン療法は、胃の内側にバルーンを挿入し、食事を減らすというものである。バルーンを挿入して、食事を減らすというものである。バルーンを挿入して、食事を減らすというものである。



胃内バルーンは挿入の大きさ

用いたため、さらに研究を進めていくつもりだ」と語った。

最新スパコンの運用開始 さらなる高性能化を目指す

HA-PACS

計算科学研究センターは、2月1日、最新のスパコン「HA-PACS」の運用を開始した。

スパコンは、高性能な計算機である。HA-PACSは、最新のスパコンである。HA-PACSは、最新のスパコンである。HA-PACSは、最新のスパコンである。



運用を開始した HA-PACS

「HA-PACS」は、最新のスパコンである。HA-PACSは、最新のスパコンである。HA-PACSは、最新のスパコンである。

未解明の睡眠の謎に迫る

バイオカフェ

睡眠の謎は、睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。

睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。

「睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。」

「睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。」

「睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。」

「睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。睡眠のメカニズムを解明することにある。」

TSUKUBA FUTURESHIP
筑波大学基金
学生を支援します!

TSUKUBA FUTURESHIP
寄付者一覧

～個人～

阿江通良様 秋葉重実様 畔上泰治様 天野勝利様

新井保幸様 有波忠雄様 飯田聖士様 石濱光明様 一ノ関竜也様 IRVING LOUIS JOIN 様

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------------------------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|
| 岩本浩二様 | 植松貞夫様 | 宇川彰様 | 輪沢力様 | 内田俊夫様 | 宇南山弘公様 | 潤米保男様 | 胡美穂様 | 大手昇一様 | 大根田修様 | 大森敏明様 | 岡田実様 | 岡村直道様 | 岡本博子様 | 小澤一夫様 | 遅野井茂雄様 | 尾崎祐一様 | 貝瀬隆祐様 | 笠原勇二様 | 柏木道子様 | 加藤奨一様 | 加藤範夫様 | 金保安則様 |
| 神矢良知様 | 河合隆幸様 | 川島利彦様 | 川那部保明様 | 川村卓様 | 菊池信孝様 | 岸本弘子様 | 木村守様 | 楠川幸弘様 | 熊谷嘉人様 | 栗原嘉一郎様 | 小島美佐子様 | 小杉武文様 | 小西敏之様 | 小松原栄様 | 小松原哲郎様 | 米谷久義様 | 坂下孝二様 | 坂根正孝様 | 佐川旭様 | 加藤慎一様 | 佐藤大輔様 | 佐藤泰弘様 |
| 佐藤占位様 | 沢田雅也様 | 山海嘉之様 | 柴田周一様 | 志村英男様 | 杉田倫明様 | 須黒由紀様 | 鈴木健生様 | 鈴木友康様 | 鈴木久敏様 | 鈴木裕様 | 関拓秀様 | 曾根博仁様 | 鷹野誠二様 | 高橋智様 | 武井詢様 | 竹内広行様 | 橋浩史様 | 田村涉様 | 辻中豊様 | 土子昇様 | 都築功様 | 鶴田雅彦様 |
| 富岡正浩様 | 直江俊雄様 | 中塚利一様 | 中村以正様 | 那須英昭様 | 生井栄様 | 西脇義則様 | 根本富彦様 | 野崎剛様 | 野沢豊様 | 服部利明様 | 早川邦昭様 | 林貞也様 | 早松健治様 | 原紀一郎様 | 原田繁様 | 東照雄様 | 東山和幸様 | 久武幸司様 | 一二三朋子様 | 平野博康様 | 廣瀬和幸様 | 福島基夫様 |
| 福地清様 | BENTON Caroline Fern 様 | 粗茂夫様 | 堀井均様 | 前野貴美様 | 前野哲博様 | 増尾弘美様 | 松井至様 | 松崎王夫様 | 松崎広好様 | 松澤仁美様 | 三明康郎様 | 實淨龍彦様 | 水谷太郎様 | 三井康弘様 | 三戸憲二様 | 緑川孝一様 | 宮沢保雄様 | 宮田裕治様 | 宮本陽一郎様 | 美善志洋子様 | 村上晶様 | |
| 室井光裕様 | 元田直輝様 | 森崎厚行様 | 森野正敏様 | 守橋健二様 | 森本浩一様 | 山口佳樹様 | 山崎敏誉様 | 山下勝也様 | 山田務様 | 横田弘志様 | 吉江森男様 | 吉住昌一様 | | | | | | | | | | |
| 渡辺健様 | 渡部聡様 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

寄附のお問合せ・お申込み

筑波大学基金事業室

〒305-8577
茨城県つくば市天王台1-1-1
TEL: 029-853-2178
FAX: 029-853-6020
E-mail: futureship@un.tsukuba.ac.jp
筑波大学基金ホームページ
https://futureship.sec.tsukuba.ac.jp

ソフト面の議論はこれから

長年議論されてきた学内の自転車混雑緩和への対策。ループ道路内でのサブペデの本格的な整備や自転車通行帯の試行がようやく始まった。しかし、自転車問題解決への方策は向も施設の整備だけでは不十分。同時に進めるべきソフト面の対策はないのか学内外の事例をもとに考察する。(中島佳奈川文学部 二宮健太社会学部 福住勇太物理学部 中島光夫工務学部)

解決へ模索続く



自転車登録で駐輪管理を

体導で導入されている登録制度のシール

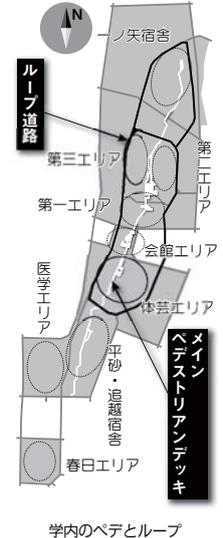
自転車問題に対して他大の対策。筑波大学、大阪市から専任のスタッフが巡回してもままならぬ取り組み。立大学を他大でも導入し、監視にあたっている。現任水戸キャンパスに限定しているが、今後は他キャンパスにも拡大する方針。一方で、自転車登録制度を導入し、駐輪管理を徹底する。登録された自転車は、登録された場所以外に駐輪しないよう管理される。また、登録された自転車は、登録された場所以外に駐輪しないよう管理される。



トが無い、事務方の負担増。加えて学内の反対意見。見かねた学内の現職には見かねた。反対意見については、足立准教授は「学生側にも、盗難に遭った自転車から早く手元に戻す、盗難防止に役立つなどのメリットがある。スペースが圧迫され、歩行者に危険を及ぼしている。自転車登録制度を導入し、駐輪管理を徹底する。登録された自転車は、登録された場所以外に駐輪しないよう管理される。

ペデからループへ 自転車依存への対応も

自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。



接触で150人以上 改善へようやく動き

接触で150人以上 改善へようやく動き。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。

接触で150人以上 改善へようやく動き。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。

接触で150人以上 改善へようやく動き。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。



陸上競技場横ループに

陸上競技場横ループに。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。

視点

視点。周囲の学生に話を聞くと、学内の自転車問題に関心が高まっている。しかし、具体的な対策はまだ見えない。学内の自転車問題に関心が高まっている。しかし、具体的な対策はまだ見えない。

接触で150人以上 改善へようやく動き。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。自転車が増える光景を見て、ループ道路の自転車依存への対応も。

Remember 3.11 あれから1年、3.11を「想う」

明かりで感じるつながり

キャンドルナイト
本学生による震災復興支援団体 Tsukuba for 3.11 主催のイベント「Remember 3.11」が3月18日18時から、市役所の他、土浦市、守谷市、西本市で行われた。



このイベントは、東日本大震災から1年となるこの日に身近な人それぞれの想いを込めてキャンドルを灯すことで、人々とのつながりを深めることを目的に実施された。また、当日集まったのが、新しい方向けに灯したキャンドルの写真共有する「参加方法」も示された。

講演会

コミュニティの必要性語る

Tsukuba for member 3.11のイベント「Remember 3.11」の1つとして、3月18日に市役所で行われた。このイベントは、被災地の人々とのつながりや、被災後の復興に向けた取り組みについて、被災者や関係者から話を聞いた。

被災地から来た方々が、被災後の生活や復興に向けた取り組みについて、被災者や関係者から話を聞いた。被災地から来た方々が、被災後の生活や復興に向けた取り組みについて、被災者や関係者から話を聞いた。

被災地から来た方々が、被災後の生活や復興に向けた取り組みについて、被災者や関係者から話を聞いた。被災地から来た方々が、被災後の生活や復興に向けた取り組みについて、被災者や関係者から話を聞いた。

復興への想いをのせて

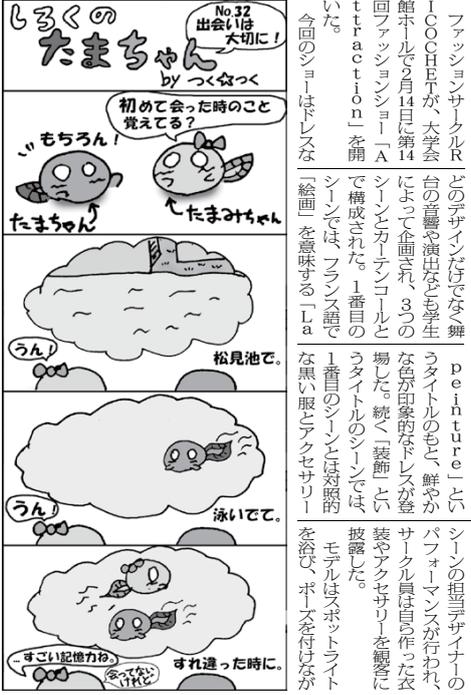
写真展

3.11が企画、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、3.11が企画、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、

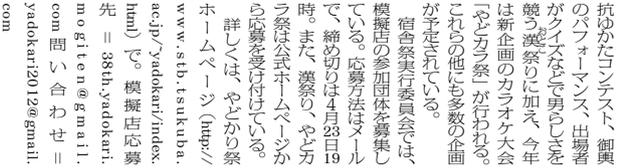
被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、

被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、被災地を舞台にした写真展「Remember 3.11」が2月11日、

学生デザインドレスを披露 舞台演出も自ら企画



ファッションスクール RCOCHET が、大学学生会の企画や演出なども学生によって企画され、3つの回「ファッション・Attachment」を開いた。今回のショーは、ドレスを披露する「Manmade」として出た。ファッションスクールは、学生が自ら企画した舞台演出も自ら企画した。



ファッションスクール RCOCHET が、大学学生会の企画や演出なども学生によって企画され、3つの回「ファッション・Attachment」を開いた。今回のショーは、ドレスを披露する「Manmade」として出た。

HERCULES

HERCULESは、学生唯一のビジネススクールだ。創設時の理念は、社会活動で活躍できる人材を育てることだ。



HERCULESは、学生唯一のビジネススクールだ。創設時の理念は、社会活動で活躍できる人材を育てることだ。HERCULESは、学生唯一のビジネススクールだ。

参加団体募集始まる

新企画「やどカラ祭」も

第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。参加団体募集始まる。

参加団体募集始まる。新企画「やどカラ祭」も。第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。

参加団体募集始まる。新企画「やどカラ祭」も。第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。

参加団体募集始まる。新企画「やどカラ祭」も。第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。

参加団体募集始まる。新企画「やどカラ祭」も。第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。

参加団体募集始まる。新企画「やどカラ祭」も。第38回やどカラ祭、夜祭、26日に本校で行われる。

Who's Who?

Tsukuba for 3.11 代表

水落祐樹 さん (生資4年)



復興を祈るキャンドルを背に、水落さんは未来を見据える

「被災地で被害を目の当たりにし、そこでかわいそうと思う。けれど、情で動く方向へ行ってしまう。だから冷静さが必要。理屈で動い

冷静さを保ち、被災地へ かかわり築く活動続ける

「被災地で被災者を助けるために、復旧・被災者支援のために、本学生に自ら組織された。現地のボランティアや、つば市でのイベントの企画を行っている。きっかけは友人に誘われて7月に気仙沼へボランティアに行ったことだ。被災地は津波で町が壊れ、改めて衝撃を受けた。また津波で地固がなくなってたり、火事や家が壊れている。テレビで知ることになった被害にも驚いた。がれき撤去や掃除をしながら、仮設住宅も回って、緊要期を過ぎたため、被災者は落ち着いていた。しかし実際に話を聞くと、家族をなくし、被災地の人々を支えるために寄り添っていた。しかし家族を失っている人に『絆』といって軽々しく寄り添えるのか。ボランティアとは何なんだと水落さんは考え悩んだ。

水落さんはその後月に1回のペースで被災地に入った。そこは震災を期に、以前から現地にあった社團がさらに顕在化している。例えば地域の交流の希薄さだ。ある時100戸の仮設住宅に100個の物資しか届かないことがあった。だかでも地域の中心の交流が少ないため、譲り合いの精神がなく、配給が後回しになっていた。また漁業も問題だった。復興が求められているが、以前から漁業は乱獲で停滞していた。震災以降は津波で漁具が流されるなど、大きな打撃を受けている。現場でないと分からない問題があった。

「TSUBUBIで取り上げられる部分はきれいな話と彼は話す。復興への前向きな姿勢だけが取り上げられ、本来の問題を映し出していない。おなじみの「がんばる日本」という言葉も軽いと思つた。ボランティアをすすめて言うよりは、被災地の問題を見つめて興味があったと水落さんは語る。現在は被災地

ただでなく、つば市でも地域の市民の交流を促すことが求められており、つば市や気仙沼市青年会やボランティアなどのイベントを開催している。な日本米、花粉症で鼻水と交流のきっかけは作るが、我々のようなボランティアがいなくても、市民の交流が続いてくればよい」と話す。現在つくば市には、もともといた地元の人、開発され地域にきた人、福島から避難して来た人がいる。この3者の交流が活発であるよう、力を貸していきたいと水落さんは考えている。「自分の活動に終着点はない。水落さんは今年1年休学し、活動を続ける。今後は自分がTsukuba for 3.11を辞めた後も活動が続くような土台作りをしていく」と言ふ。最終的にはつば市の交流をモデルに、つば市だけでなく、つば市をどこまで取り回すか。つば市全体が手を取り合う。そんな未来も遠くはない。(中島佳奈 人文学類)

次号は
5月14日(月)
発行予定です

卒業・修了記念式典



大学生生活最後の日。卒業生は筑波からそれぞれの道へと旅立つ

1面へ

卒業ダンス公演



総勢300人を超える学生が参加し、想いを表現した

16面へ

ふるさとつくばゆいまつり



まつりで生まれる、世代を超えたつながり

18面へ

筑波自然図鑑



「日本の国蝶」として有名なこの蝶の姿をご存知の方は多いと思うが、その幼虫はさほど知られていない。幼虫はエノキの葉を餌としており、枯れた葉と一緒に地面に越冬を態。それに合わせて体色も緑から枯れ葉色に変わり、春までエノキの根元でじっとしている。「坊主めり」の要領で落ち葉をめぐれば、この幼虫に出会えるかもしれない。(写真・文 武藤将典 生物2年、野生動物研究会)

編集後記

気温が徐々に上がり始め、ヒールを飲みながら4月号の編集期間を乗り切りました。涙目、戦うN層、N宮君を横目に、ドリッポウコーヒを飲みながら4月号の世話になったO先生に代わって新たに顧問になった敏腕記者・F先生に、大先輩新聞を作ってくださいませ。4月の文中にもあるように、事件記者や外聞の特派員を経験してきたF先生、今までは一味違った紙面をお見せできるかしれません。(編集長 松本康二 人文学類)

学内総合

学芸

学生生活